

2009年3月期決算説明会 Q&A

・ 足元の市況および今後の市場見通しは？

半導体製造装置：2009年3月期第4四半期(2009年1月～3月)が受注のボトムであり、少しずつではありますが新規設備投資の動きが見られます。しかし、本格回復にはまだ時間がかかると予測しています。

FPD 製造装置：液晶パネルメーカーの工場稼働率は上がってきていますが、どれだけ新規設備投資につながるかは現在では予測が困難です。今しばらく液晶パネルの需給状況をウォッチする必要があります。

・ 再建策として大幅な人員削減を予定しているが、市場回復時に対処できるのか？

2000年3月期以来、9期ぶりの営業損失を計上しました。今後も厳しい事業環境下にある当社としては、この難局をいかに乗り切っていくかが重要です。企業存続のために、大変遺憾ではありますが、人員調整は避けては通れない策であると考えました。また、スリム化を行った体制でも、事業規模に見合った組織および人員の適正化を図ることで、市場回復時に対応できると考えています。

・ 今後の資本増強策について、どのような形式で、いつのタイミングに行うのか？

これについてはさまざまな方策を検討中ですが、現時点で具体化しているものではありません。株価の動向や当社が置かれている事業環境を踏まえ、既存株主の皆さまにご迷惑とならないような形式で実施できるよう検討を進めてまいります。

・ 再建策について、今後何に取り組んでいくのか？

可能な限り損失を抑えるために、カラーフィルター用直接描画装置以外にも不採算事業の縮小、撤退および国内外グループ会社の統廃合を検討しています。具体的にお話できる段階にありませんが、決定しましたら随時ご報告させていただく考えです。

・ 持分法適用会社である SOKUDO は今後どのように変わるのか？

今まで新製品開発のために多くの資本を投下してきましたが、本年4月に新製品「SOKUDO DUO(ソクド デュオ)」を発表いたしました。2011年までにマーケットシェア20%を目指します。これにより、売上の拡大および研究開発の低減を見込んでいるほか、人員も抑えていくことで、赤字幅を大きく下げられるとみています。